

新入社員に贈る言葉

クラボウのDNAを学び・受け継ぎ 創造性に溢れる新たな発想で 業務に取り組んでいこう！

4月1日、大阪本社で行われた入社式で、西垣社長から新入社員に贈られたメッセージを紹介します。



チャレンジ精神は クラボウの遺伝子

当社は、日本が近代国家として歩み始めて間もない1888（明治21）年、現在の岡山県倉敷市に誕生いたしました。

当時、疲弊していた倉敷に、新たな産業として紡績事業を興すという、熱き想いを持った3人の青年が描く明るい未来図に感銘を受けた、当社初代社長大原孝四郎の支援によって「有限責任倉敷紡績所」が創設され、今年で137周年を迎えました。繊維事業を祖業として始まった当社は、その後、明治、大正、昭和、平成、令和という五つの時代の経過とともに、化成品や環境メカトロニクス、食品・サ

す。
新入社員の皆さん、あらためまして、入社おめでとうございます。

ービス、不動産活用へと事業領域を広げ、業容を拡大してまいりました。

また、日本で最初の私立の西洋美術館である大原美術館や、労働面での課題解決に向けた大原記念労働科学研究所、そして自社の従業員のためだけでなく、地域にも開放された医療機関である倉敷中央病院の設立なども行ってまいりました。

これらは、企業が長期にわたって持続的な成長を目指すために、現在、ステークホルダーが重要視している三つの要素「環境（Environment）」、「社会（Social）」、「企業統治（Governance）」の頭文字を取ったESGや、持続可能な開発目標であるSDGsにも通ずるものであり、当社では既に100年以上前から世の中に先駆けて、社会貢献活動に積極的に取り組んできたと言えます。

これらが示す新たなことに取り組みチャレンジ精神は、初代社長大原孝四郎が語った「やる可し、大いにやる可し」という言葉に象徴され、それ以降、従業員一人一人が積み重ねてき

たクラボウの大切な遺伝子です。これらの情熱とチャレンジ精神を発揮し、前中期経営計画「Progress'24」では、基本方針である「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」のもと、注力事業に位置付けている半導体製造関連市場でのビジネスが拡大するなど、クラボウグループが目指すべき事業ポートフォリオの改革を順調に進めることができました。

そして本日から、「高収益事業の成長加速と経営資源の効率的な活用による企業価値の向上」を基本方針とする3カ年の新中期経営計画「Accelerate'27（アクセル'27）」がスタートし、皆さんと共に、前中期経営計画での取り組みを文字通り「加速」させていくことになります。

現在、私たちは、欧州や中国など海外景気の停滞、停戦合意となったロシア・ウクライナ戦争や中東情勢、また物価の上昇に加えて、トランプ政権の政策方針など、先行きが不透明な、まさにVUCAと呼ばれる時代に生きています。しかし私たちは、環境の変化を言い訳にする



ことなく、目標を達成するため
に、変化に素早く対応しなければ
なりません。そのためには、
過去の総括や現状分析をしつかり
行い、変化に応じた複数の対
応策を、事前に検討、準備する
ことが不可欠です。これにより、
急激な変化に対しても、冷静かつ
迅速に対処でき、ビジネス上の
リスクがチャンスに転換される
のです。

皆さんには、137年の歴史
の中で培ってきたクラボウのD
NAを学び、受け継いでいただ
くとともに、「今までのやり方
にとらわれない、創造性に溢れ
る新たな発想」で、積極的に業

務に取り組んでいただけること
を期待しています。

経営における

三つの重要事項

さて、私が社長就任当初から
考えている今後の経営において
重要であること、大切にしてい
ることを三点お伝えいたします。

一つ目は安心・安全な職場環
境の整備です。サプライチェー
ンを含めグループ従業員の皆さ
ん一人一人の安全と健康、そし
て幸福は、会社の存在価値の前
提であると考えています。

二つ目は「コンプライアンス」
への万全な対応です。ひとたび、
これらの重大事案が発生すると、
137年の当社の歴史と信頼を
一瞬で失うとともに、客先やサ
プライチェーンの関係者に多大
な損害を与えることとなります。
「コンプライアンスの遵守」は、
企業運営の基本であり、サステ
イナビリティ経営の根幹という
ことは言うまでもありません。
三つ目は、客先を含めたサプ
ライチェーンを構成する全ての
取引先、全ての人々との信頼関

係の構築、関係強化です。現在
の、複雑で厳しく、変化の激し
い事業環境の下では、当社単独
で全ての物事を進めていくのは
困難です。持続的にWIN・W
INの関係が成立する取引先と
の信頼関係の構築が重要である
と考えています。

皆さんへの三つのお願い

また一方で、皆さんに求めた
いこと、お願いしたいことがあ
ります。

情熱と

チャレンジ精神を持って、

仕事を楽しむ

一つ目は、当社のDNAであ
る「情熱とチャレンジ精神」を
発揮していただきたいというこ
とです。当社の最も重要な経営
資源は「人」、すなわち皆さん
です。皆さん、一人一人の成長
こそが当社の成長につながるの
です。企業である限り数値目標
は重要ですが、単に数字を追っ
かけ、それに縛られるのではな
く、一人一人が考え、判断し、

目標に向かって積極的に行動す
ることで、仕事を楽しむことが
でき、皆さんの真の実力が発揮
できるものと信じています。

改革のヒントは現場にあり —自分で見聞きすること

二つ目は、「勇気ある改革者、
先駆者」になっていただきたい
ということです。そして、改革
のヒントは、それぞれの現場に
あります。インターネットによ
る情報や伝聞のみに左右される
のではなく、皆さん自身が真の
現場情報を収集することで、は
じめて的確な判断ができます。
私は、皆さんの「チャレンジ精
神」と「勇気ある改革」を全面
的にサポートすることを約束し
ます。

仲間をつくり、

同じ目標に向かって突き進む

三つ目は、業務を通じて社内
外に、できる限り多くの仲間を
増やしていただきたいというこ
とです。私は、事業化や業容拡
大の重要な一面は、信頼関係で
結ばれ、目標を共有できる仲間
づくりであると考えています。

信頼関係が構築された仲間やチームが同じ目標に向かって協力した時、最大の力を発揮し、想定以上の成果が生まれると信じています。皆さんには仲間づくりによって、大きな達成感や喜びを味わってもらいたいと思います。すなわち、当社の社は「同心戮力」をあらためて共有し、皆さんと実践していきたいと考えています。

**熱い想いや夢を持ち続けて
業務に取り組もう！**

今日は皆さんにとって、社会人としての第一歩を踏み出すと同時に、同期というかけがえない仲間を得た日でもあります。今日から始まる約2カ月にわたる導入教育・工場実習などを通じて、クラブウを発展させる同志として、お互いに切磋琢磨しながら絆を深めてください。

若さ溢れる皆さんを見ていますと、とても頼もしく感じるとともに、私自身も活力を得て、明るく前向きな気持ちになります。皆さんが、今感じているであ

ろう、熱い想いや夢、目標をこれからも持ち続け、当社グループの発展に存分に力を発揮していただくことを心より期待して、私の訓示といたします。

（文責在記者）



▲ 坂上さん（熊本イノベーションセンター）が今後の成長を誓った

クラブウの事業所採用の入社式は3月21日に行われました。その様子を紹介します。

また、クラブウグループの新入社員紹介企画は5月号で掲載します。お楽しみに！

徳島工場

小原さんと森さんが入社した2人は、数日間の導入教育の後、各所属部署へ配属となる。現場での安全教育、会社の規則や制度など、新しく覚えることが多く、困惑することもあると思うが、一つずつ確実に吸収していつてもらいたい。

不安と期待が入り混じる心境にあるかと思うが、明るく安心して働ける環境を提供できるように、教育担当者を中心に工場全体でサポートしていく。フレッシュな仲間が加わったことで、工場全体が活性化していくことを期待したい。



寝屋川工場

奥野さん、藤井さんが入社した。山本工場長からの訓示では、「安全第一・目標を持つこと・コミュニケーションの三つを大切にしてほしい」とのメッセージが送られた。

安全・健康には十分注意し、初心を忘れることなく、仕事にプライベートにと充実した社会人生を送ってほしいと思う。



裾野工場

岩根さん、池田さんが入社した。

諏訪原工場長から2人に向けて、祝いのあいさつを述べられた。「安全・健康・素直さ、この三つの言葉を忘れることなく、しっかりと心に刻むこと。また、何に対しても、失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と送られた。

導入教育を受講後、正式な配属となる。新たな仲間を加え、工場の目標達成に向けて従業員全員でベクトルを合わせ、業務に取り組む。



鴨方工場

沖野さん、長山さんが入社した。工場長から激励の言葉に続いて、新入社員を代表して沖野さんより、今後の意志表明をいただいた。

入社式を終えての感想は。



F.L.・沖野さん

入社式は緊張したが、これから頑張っていこうと思った



仕上・長山さん

まだ緊張するが、クラブウで精いっぱい頑張りたい

これから4日間の座学を行い、全工程をローテーションし、知識習得と、多くのメンバーと交流を図るように計画している。皆さんとのコミュニケーションを通して、早く環境に慣れてほしい。

三重工場

近藤さんと佐野さんが入社し、社会人としての第一歩を踏み出した。

真新しいユニフォームに身をつつみ緊張の面持ちで入社式に臨んだ2人に、工場長からは「社会人生活を面白く感じられるよう何事にも興味をもって取り組んでほしい」、谷川原分会長からは「一つのチームとして楽しいことは共に喜び困難なことは共に乗り越えよう」と歓迎の言葉が贈られた。

先輩社員も2人の入社を心待ちにしていた。積極的にコミュニケーションを取り、早く新たな環境に慣れていってほしい。



熊本イノベーションセンター

宮原さん、吉岡さんの2人を技術課に迎え入れた。

社会人としての1日目ということで、緊張した様子はあったが、新入社員の誓いの言葉では2人とも堂々と元気な、これからクラブウの一員になることについての抱負を発表した。

入社式で佐野所長が大切にしたいこととして挙げた、安全第一・目標・コミュニケーションの三つを意識して、毎日の課題に取り組んでいただきたい。一緒に熊本を盛り上げていきましょう。

